

Kitasato Memorial Medical Library

起き 7 功等 醉的 木章 自なのづかラ 力之 說 神な 云 1 智多 書う 7 題光 如 = 逢 此。 日中 醉 劑等 12 劑 劑 チ ガ =/ 酒意 如ご 以言 死し 11 獨* 劑的 卓な 藥 ヲ テ 絶ち 諸な 物 チ 釋 T. 劑ご 痹。 學 性な V 7 生类 從的 質さ 如 チ 如 要多 麻 " " U 性炎 痛? 痹ひ 冠的 テ ス 理" 養さ 云 ス 逐分 機 チ 變元 者も === 知之 7 錯がか 沈急 ラ 11 28 妙ら 久な 使を 醉的 至於 人だん 用為

櫻岩式寺司の學加ノ乏下量ラ シ黎追りビテル説キューデ洋國 社 核舗 水蛭 此遺 = + 者尹 聞見 崑近 長正井即又書入皇纂者以明憲家世 識錯業刷制チュ國情選ドノン 誤ト 太監 揺る 支譯 威モ 鴻海 新學 アス~ヲカシ那述ナ事澤本著一 フル シ加 ハ然 ノシ キ業 ナノ 陸變 バモ此へ殆ラ説最「多ラ教續シ 讀ノ書發ドバ チモ 能端ス師 舶漢 者を 啻兒 遺則 以簡 ハノ ヤチ 輸サ 請一ニシ懐チテ明ズモ然延ス去 っ讀 磨テナ僻 凡切 因ノトキルテ コレ家世カ邑實當ラ及雖其モ洋 レテニニル大學ノ今貧モ學ノニ ナ有 便問 へ都 ニモ 西困 其術 枚就 訂盆ナフシ學神ノ洋=地サ 舉ク 正勘 ル諸 先二 盆 尹 現シ 僻親 ス是 セナノ學が志ァ尕在テ遠泉ルニ ソカミ科薬スルリ諸學或研ニ於 フラニノ 劑者 モ之 大貲 ハ究 違テ サズ 非如 學一 ノニ 家二 都太 アカ

一阿 张* 或るない 則多面 上高 醉 涙ふ 帖ら 液色 美* 斷だん 果の 後の X 痕え 取為 疵し 未xx 色の 收多 灰緑のよく 聖か 5 球為 溶え 宁 葉為 出為力 形は ナ 艾 時言 7. 包? ナ 既き 細さ 洞二

名的 家か 正等 百万 故意 症。 氏 行為 詮な 備を 固二 1 書な 詮な 深入 == =/ ヲ -6: 18 爆き 方為 亦 陳え 湾が 7 釋《 大 也 テ 曲等 爱: 此言 老が 篇記 亦作 諸 =3 掛き 究的 ヲ 家 述の 説き ブ ラ 徒う チ ズ * 義× 量りやう 如意

健 沈え 身為 體 爆 吸 用为 7 静い 體が 作 3 ス 皮》 始 慢光 温》 用三小 ル 盾多 身 × 緩光 = 経を 如 體 至 堪べ チ 量 潤光 快的 n 則 ナ 以一 脉炎 醒。 ナ 手 7 下八 就る 侯ら チ 呼 常き 後 覺 =/ 子 奮が 7 爱等 促き 期き 長が 息を = = ス = 到点 餘水 調 " 症。 和公 テ 减 間 テ =/ 豚ななな数 疼5 +. 凡 テ 神光 痛; 終記 > 半 B 安か 悩み 减发 1" =/ 口多 部は 等 下。 醉 委 咽急 緊急 3/ 乾な 强き 呼 " 五 効"

0 0 0 味のある 淹る 阿 12 片 涸 混 者 世 b 交 苦く 15 28 **プ、** 其為 4 ズ 抑⁸ 品水 面光 阿 阿杰 暗る 位图 有多 P 28 黑 分え 量りやう 色之 好"5 種為 ザ === 收益 少多 差さ 不多 + === n 製出 快点 違" + ル 3 解公 世 老 + テ 臭るう 生态 搥が ザ 3 氣 碎さ ズ V 交。 雖 ナ 28 ル 憂れる 越 -63 V 酒品 諸 28 斯 溶 精が 內心 種 化的 或 藥 面为 赤 不多 劑言 11 + 水 潔さ 褐" ズ ナ === 色表 物 使

一大 亂。 醒為 -6 3 老 テ 25 至六八八 意い 清美 更 テ 身 煩心 後 致ち 體 カ 轉え 悶え 千 思き ス 衰炎 ラ 語え 間 通う 諱、 弱さ 12 ナ 則 語: 奮 身系 ヲ 漸だ 七 =/ 期 過 倦れ 動 子 次也 ナ ナ ス 甚ばかる 初 甚 息な 作さ 體 V = 悪を 然 7 文 中 28 鼾~ = 短点 康から 脈 心态 懶がっ 睡光 牛 V = 數 復多 便人 忍る " E =/ 27 在場がいろう 且 夢な 秘が 沈え 神な 等 魂ん 3 邊心 氣 ツ 强 チ 安为人 テ 丰 疲い 1 症。 發すっ 强 烈力 寧公5 痛多 憊s 實 候う 笑 處よ ナ + met. =/ 此智 除色 起き 言為 ラ P 居喧小 理, 語 ナ 71 12 逐る 如ご 譜だ ス 語 徒ち 錯き 雖 雖

中 覺を 重等 脈 定意 三一人人 識な 或 能分 面。 ラ == = 質多 昇? 掉。 大 盐 力高 身 早ん 口 テ 扩 域な 小 遅ち 體 如 結けっ 咽 -23 V はなっただ 動等 神だ 量 乾 膜を 亦 " 温龙 燥 思 目的 × === === 3/ 活かっ 度ど 紅多 安かん 北 =/ 著るし 心态 潑り 定い ナ 煩點 質ら チ 呈版 吐き 促さ + P 睡如 逆さ 進を 興 則 全点 n 熟 奮 半 身态 瞳系 ス っ精い 力 腊 朝江 ス 較、 以 神光 -6 女人 强深 L 時 亦 頭 部本 奮 間 ヺ 2 過ぎ 旋れ 其为 脉 頭づ 宁 充ち 敷き 過 知

解 0 0 少 閉公 阿 = 最も 片 全 所 絶ち チ 中多 見 以 至 -6 毒类 終 甚 阿 + 12 テ 片 腦が 確? 血 === 3 徴き 41 校 膜类 症 衰 2 久き 及 脱ぎ 其 21 量から 凝ぎょう 形元 瞳 ナ =/ 脳あ 拉り =/ テ + 大 性的 針的 質る 斃を 5 又是 縮 n チ 乏量 久 少 以 服 216 =/ テ 其 則 血 尿 刺表 大 他 液 手 12 ガ 慣的 上等 分 1 如 五 冲弯 泌 丰 2 充多 阻さ 尿ら 11 屍も 5 絶ち 1 刻言 分え ス 慢も 故 泌言

4 毒 發き 筋 暫さ 縮 量 作さ 時に 惕に 小 四名 = 至二万八万 緩り 肉に 肢、 分 --ス P =/ 間為 引导 テ 颜* 1) =/ 下》 颜。 冷水 頭光 テ 直水 領が 面点 層を 興 振る 脈 重な 着き 播: 奮 遲 == 73 白点 下 物 香浴 醉 期 双 === 强 等 冒 期 =/ 2 状态 劇計 顏 ヺ. テ === P =/ 發 微水 色 移う 人为 ナ 性き =/ 前光 事 17 亂花 弊い 其 係る 全 呼 チ ゼー脈 大次 吸 身 デ V 量がやう 促さ 間 倫光 = テ 額く 機 迫员 短 1. ス + 上等 闘が 部等 即南流 =/ 冷水 利。 瞳 41 遲。 汗がん 説を 孔 獨 也 僅か 瞳 吉で ナ 力 孔 流 筋急 縮 如

-crea-	-		-					MATERIAL PROPERTY.	Distriction (
	Ξ			4			-		
	三一熱				用	ス	(一)神光	y	,
	性	經	2	脳等	=	然	經改		効
	病	系	+	及	12	ν	系は		7
	洪	=,	鎭丸	t.	7	压	機		主意
	急	於	静华	知為	+	熱力	能。		ŀ
	性	7	ス	覺や	#	性。	旺当		=/
	,	"	n	神	v	殊智	盛紫		用
	經は	其	良。	經		=	ス		b
	過分	効	効s	,		頭	n		興
	ナ	此	P	機		部	者		奮
	誤や	,	ŋ	能		充	則		,
	"	如	+	旺		Ĺ	4		劾
六	程為	>	難	盛		,	疼		+
	再光	峻	相	ス		徵為	痛		目之
	B	+*	介·	n		候う	及		的な
	7	7	電響	者		P	ど		+
	經~	ス	及	=)V	不多		為
	5		E	ナ		者	眠		2
	神		運え	7		=	=		+
	經		動言	5		必	生		稀記
	系		神	-		ス	用等		+:
000	ATTENDED TO								

	图		C					
=	專	n	阿	12	氣色	幔*	ス	性智
基等	劾	٦	片	=	巴芒	性は	舌ち	2012/2019/19/19
"	用	必	煙	至	=	為力	上京	泰
F		然だん	草	n	衰	答:	答"	1
+	阿	+	チ		~	見る	ナ	ナー
21	片	y	吸き		波で	,	生等	12
興	,	故	階 ^l		肉气	症	57	并
奮	効	=	ス		寬於	候	或	症
及	用	惧	n		銀き	ナ		2
F.	1	ズ	+		ナ	顯	便礼	n
麻	上章	7	+		生	v	秘。	始
醉	條	20	21		=/	齒し	v	×
+	=	P	此		神流	牙》	。或	消ぎ
ŋ	示為	n	幔		志	黑	25	化。
+	ス・	~	性		困え	色艺	下"	機*
雖	處となっ	11	中		憊。	銀ぎ	"利"	寒*
₹6	,	7	毒		=/	肉气	=/	~
通言	健和	ス	7		毒°s	弛*	テ	飲以
常等	體で		喚え		5	緩る	腸を	食之
麻	作さ		起。		死	=/	目"	進、
醉	用る		ス		ス	體等	=	7

(六)腦 五婦 四一鉛 性等 八元 毒类 參子 阿 = 河流 腰気 =片 喜 至 ナ 12 腹 斯色 ス部 見丁 テ 腹き 麻 痛 故 ベ第 コ幾 的「 里》 疼ち 又 腹を 醉 == 臨九 性法 捷^à 痛; ス 尤をかまう 後亡 産え 疼 及 用 反う 陳記 痛 E チ ス 腸がなっくと 常う 或 テ大 梢; 痛多 產意 神 ル 後で 思。 便 經 1 6 下* 急為 見。 心态 速を ス = 枕え 追ば 縮令 効 症 = 疾 切言 注意 痛; 吐き ナ P = 痛了 雷う 想る チ 7 デ 治 治 瘞 チ ナ 瓦克 攣 劾 ナ ナ 姓に 候う テ 子 ス 緊急 痛。 娠光 心方 3 縮き

熱 症 チ 瓦 蝕さ 院が 等 侵? 劾 則 ヲ 鎭 藥 於 ルカ ナ 3 4 = P ギスト 疼 靜 中 テ ス =1 量 痛 者 服 " ラ ナ 25 其 テ チ 其 チ ナ 12 =/ 鎭 系 疼 用 チ 1) 急 疾為 以 質う 痛 × 6 腸が 性 鎮 敏办 テ チ 關的人 動 主 静 常やう 鎮う 炎丸 機 用 節ち ナ ス チ (健力 有多 發 ŋ ス n 静\$ 劾 麻* 疼 ス 質腦腦 此山 痛 或 者 藥 =/ 膜炎 下 殊 ラ ラ == 熱。 譜 利 用 ス ス ブ 及 腸ちゃう 穿 穿礼 語 チ 開。 孔 不 北京 L. 誤るやまつ 腹ぎ 眠 膜类

~ 往 故 ヲ 用 傷なる 乙分 6 損えん 國 者 用 子 テ 莫* 多世 調う 酷き ス = 爾る 和台 酸え 21 ナ ル テ 此 奖 害が 水 阿 = ₹£ 1 片 涅* 鹽丸 便人 國く P n 酸さ 溶与 =2 ナ 1) t 開" 貯ま テ ラ 子 -63 收多 藏言 ナ 1 フ n 製品 明 舊き 又 ス to 內 ナ 6 子 服 = 依 チ ル =/ 依ち 處 用 71" テ = 供為 水 テ 酷. 1 題ん 類。 敗さ 酸 ス n 塩丸 化台 溶 7 n -6 基ア 消言 チ n 主卷 張き 用 子 71

七一急 刺為 新名 ナ ナ 11 用 性 煩ねん 戦き 藥 量 憂ら 昔む P 憂う 日1 1) 病等 一人乃至 故 テ 1 舒? 1 用 = 鬱 神 ス 4 漸 經 用为 テ テ 衰されへ k 病 發 劾 四 > 疾う 振ら 12 P. 八 患なん 症 如。如 耗以 種 何かん ス = ス 故 近。 扩 = =/ 用 時る 故 + テ 身 E 體 知 癲紅 外 5 振るん 滴光 壁 峻 = 戦だ 舞ぶ 對公 効 症。 蹈为 經 =/ 悒* 病

用 以 老 7 主 内ない 上 咳% 催き = 鹽 嗽き 服急 用 硫 1 醋 量 効 11 驗 三 四 品 分 == ナ 分 至 11 各の X テ 分 日 日 含花 = 差さ 有等 度 回 チ 違v 乃。 以 1 1 量 乃 テ 至山 酸え + 至 純色 類る 7 =/ 阿 チ 片 異さ 分 分 八 八 = 八 プ = 叉 ヲ

(二)(硫) 三三酯 一八鹽 用きス 分 述 酸え 总法 コ、劣を ル 酸え 酸剂 止。 水 近 ₹**6** 力 莫 -6 痛多 時 v 如 如 = 12 12 溶 催き + 11 17 十 6 to 比 化 テード 精い 睡。 阿 憂 子 涅」、 ス 片 神充 P 11 病炎 主為 温系 色なく 劾 酯 二倍。 IJ 酸分れ 叉 氣き 専なん 21 結 下 ヲ 阿 1 === 1 日本 方言 離り 利 片 醫》 冷水 物 中等 飛~ ヲ , 家か 水 下章 散え 上 = 投き = 鹽 =/ =/ 4 + 藥之 == 溶 易ッ 卓な 酸 n 140 テ = 開 便人 26 ス 輝き 劾 ラ 且 ナ ル + " == P V t == ラ 前 至 溶 压 子 ス デ 振え 開 條 ヺ

+ 睡 胸章 A 臆さ 淳一良 少 主 快的 阿 元等 12 爽言 子 12 =/ 奮が 载 專 テ 痛多 機 劾 是元 主 得 ナ 7 恶 更多 難 -63 心态 亦 阿 劑 压 =/ 其為 等等 片 故 3 價がい 阿 ラ 熟悉 爿 騰多 餘太 L. 貴智 質多 候う 緩え 4 使 中 子 皇 ヺ === 國• 用 醒意 卓代 支 テ 越為 那 後 性 且 分 チ ス 品なん 說 精さ t = 此 類る 神た =/ 清さ 第 チ テ -6 健かん

喘さ 注 皮和 半 息を 八 注意 即 等 == 人作 局是 至 難な 痙, === 12 注 沈き 雖 24 入 皮 静が 7: 内 沢さ チ ス 20 潑ら 服 記• 1 * 注 ス プ 作さ 人 局 乃 12 至 處 15 用為 日 =/ 八 六 11 八 眠 痛3 横り 分 八 膈气 チ ヲ 促ぶ 極云 輕う 量 附多

社

長

芝

大

助

纂輯長 松 本

東京第四大區六小區池之端仲町廿三番地 印刷人 Ξ 邮

俊

腿

操

物學祭內

錦袋園

攖 南

發賣所

社

七十七歲〇東京府內配達八郵便稅不中受府外八郵便稅申受候 毎月六回發兒一冊定價金五錢〇一ヶ月分前金二十七錢〇三ヶ月分前金